

(別紙5)

整理番号 2021P-923
補助事業名 2021年度 福祉車両の整備 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人 大樹

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

安全で健康的な生活の一端として、安全で快適な送迎を実施したい。現在は、使用中車両の経年劣化と仕様により、変速ショックや振動が大きく、安全面と快適さの双方に問題がある。その為、特に車いす利用者に振動が大きくなっており、快適な送迎とは程遠い。また、振動やガタつきにより運転する職員にも負担があり、安全で快適な送迎実施の障害となっている。今回の補助事業の車両は最新式であり、これを取得することにより前述のマイナス要素を軽減できる。加えてハイブリッドタイプの車両なので環境への負荷を軽減できることも有難い。

(2) 実施内容

移送車2（車いすスロープ式）の購入

(<http://www.taiju.saloon.jp/>)

(<http://www.taiju.saloon.jp/JKA.html>)

 <p>補助事業がはっきりと分かります。</p>	 <p>スロープ使用中です。</p>	 <p>これから送迎開始です。</p>
 <p>スライドドアで乗降口が広く、歩行が不得意な方にも優しいです。</p>	 <p>遠くからでも良く目立ちます。スタイリッシュなデザインで好評を得ています。</p>	 <p>乗車時の空間に余裕があり、快適です。</p>



2 予想される事業実施効果

環境に配慮しながら快適で安全な送迎が実施できるようになった。

当事業所には車いすの方が6名、足もとに不安がある方、一人では外出できない方が数名おられる。家族の送迎がある方も多いが、基本的には自力での移動が困難な為、送迎はもとより外出を伴う行事の際の移動手段として車いすにも対応した移送車の配備が不可欠だ。しかしながら、今までの車両は変速時に大きなショックがあり、また振動や騒音も大きく、車いす利用の方には不快な思いをさせてきた。

しかし今回の補助事業の車両ではそのようなことも無く、その快適さに利用者も職員も喜んでいる。また、快適さから生まれる余裕により、運転する職員も安全への配慮が今までより多くできるようになった。加えて、買い物や見学を通じての社会活動も容易にできるようになり、利用者のQOL向上に貢献している。安全な送迎は事業者に課せられた当然の使命であるので、補助事業に心より感謝する。そして利用者から快適さを告げられた保護者も移動に対する安心感が増しており、ここでも好評を得られた。関係する全員にメリットが生まれ、今後も継続されることをお知らせしたい。

3 印刷物等

本事業に係わる印刷物等 (URL)

<http://www.taiju.saloon.jp/event.html>

機関誌の特集号をホームページ上で紹介しています。

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 社会福祉法人 大樹 (シャカイフクシホウジン タイジュ)

住 所： 〒710-0031

岡山県倉敷市有城605-3

代 表 者： 理事長 藪内 晴久 (ヤブウチ ハルヒサ)

担 当 部 署： 法人本部 (ホウジンホンブ)

担 当 者 名： 理事長 藪内 晴久 (ヤブウチ ハルヒサ)

電 話 番 号： 086-428-0040

F A X： 086-441-3443

E - m a i l： yabuuchi@taiju.saloon.jp

U R L： <http://www.taiju.saloon.jp>